

倉敷福田道場訪問

平成 29 年 4 月 22 日(土)、団員数 33 人・指導員 8 人福田道場の強さと団員数増加の秘訣を探るため、普及委員会として水島武道館を訪問しました。この福田道場は、昨年全日本剣道選手権大会で優勝された勝見洋介選手をはじめ、全国大会で活躍されている選手を多数輩出されており、全国的にも有名な道場です。道場玄関に入ると下駄箱に履物が整然と揃えられていて、道場内には子供達と保護者の方々が稽古の準備や、指導者の受け入れ等に忙しくしていた。我々の姿を見ると遠くからでも飛んできて、元気で明るく「こんばんは」と全員が迎えてくれました。その挨拶の仕方からして、さぞかし良い教育方針で指導されていることが予想された。



代表 藤井信次七段の言葉

「正しい剣道の指導（基本重視の指導）を通じて礼儀正しい青少年を育成することを目的として活動しています。そしてその目標を次の 4 点挙げています。①剣道の基本を正しく指導して技能の向上を図る。②健康で体力のある子供をつくる。③何事もやり遂げる子供をつくる。④世の中の役に立つ子供をつくる」とのことであった。



保護者からの一言

剣道を習いだして、私生活の態度が良い方向に変わってきた。指導者の教え方（特に礼儀作法）が子供に分かりやすく非常に好感が持てる。子供の忍耐力が強くなった。わがママがなくなり、我慢することを覚えた。などの声が聞けた。なかでも岡山市から片道1時間以上かかり稽古に参加している小学校4年生の女子は、最初は遠距離なのと剣道に対しての抵抗感があったようですが、藤井先生をはじめとする指導者の先生方、同胞の部員の方々等に温かく迎えられやる気を起こし楽しく稽古に励んでいるとのことである。



むすび

4～5年前には団員不足に悩み試合出場も危ぶまれていたが、保護者の方々がパソコンでホームページを開設したり、フェイスブック等を利用したりして道場内の行事や試合結果並びに感動編等を掲載したところ、多くの見学者が訪れ入団希望者も多々あったとのことでした。そして現在の活況を創っていた。

他道場においても範とするところがあると思慮されるので、積極的な宣伝活動により少年剣道人口増加に役立つ一例としたものです。 普及委員会より